

2024  
月刊

# すざかしどうぶつえん

5月号 No.277

5月の休園: 7日(火)、13日(月)、20日(月)、27日(月)



スザッチ

## 今月のイベント

5月3日(金・祝)～6日(月・振替)

【ゴールデンウィークだよ！ワクワクふれあいフェア】

5月11日(土)、12日(日)

【お母さんありがとうデー】

5月12日(日)

【春の臥竜公園写生大会】

イベントの詳細については

ホームページをみてね！



もこもこボディとおさらば！



3月までの寒さは一体何だったのか…。4月に入った途端、連日20℃越えの暑さですね…。私はあまり冬が好きではなかったので暖くなるこの季節が好きなのですが、私が担当しているヒツジたち実は暑さに弱い動物なんです。

ヒツジの特徴といえどもここの毛なのですが、ヒツジさんたちはウマやヤギと違って換毛（夏と冬で適した毛に生え変わる）ことができない動物です。

また、ヒツジは汗をかきません。汗をかかないので体の中に熱がこもってしまいます。

ヒツジは、自分で毛が生え変わることがないので暑さの中放置してしまうと熱中症を発症して重篤な状態に陥り最悪の場合死に至ることがあります。

なので…！！須坂市動物園では、毎年初夏の5月ゴールデンウィークにヒツジの毛刈り体験というイベントを行っています！そして1年かけてまた毛が伸びていきます。

毛のない時期のヒツジさんたちは、よくヤギに間違えられているのですが、薄ピンクの肌がヒツジの特徴となっています。もこもこボディのヒツジも可愛いのですが、今しか見られない毛を刈ったヒツジも可愛いので皆さんぜひご来園ください！



ヒツジ担当 鈴木 麻菜美

# トカラヤギのお母さんは放任主義??



今年の2月24日にトカラヤギの双子の赤ちゃんが誕生しました！

トカラヤギのベテランお母さん「フウカ」は、須坂市動物園に来てから今回が4度目の出産であり、現在4度目の子育て真最中です。2年前、1頭の赤ちゃんを子育てしていた時は、常に赤ちゃんの存在を気にして生活している様子が見られました。しかし、ここ数年特に今年は、ほったらかし?とはいきませんが、赤ちゃんたちが走ろうと、エサの時間にそばにいなかつとあまり気にしていないように見えます。4度目ともなると赤ちゃんの行動に慣れてきて、気にならなくなるのでしょうか?とはいっても、子育てをしていないというわけではないのでご安心を！赤ちゃんたちは長くてあと1ヵ月ほどは、お母さんのミルクを飲んで生活します。現在、大人と同じエサ（牧草）を食べていますが、そのエサを消化するための反芻胃を発達させていくにはもう少しお母さんのミルクが必要です。

今年の双子の赤ちゃんは2頭仲良く走り回ったり、寝ているお母さんの背中に乗ってみたり、とても元気に生活しています。元気な赤ちゃんももちろんですが、自由に子育てをするお母さんヤギ「フウカ」にも会いにきてください。人間が大好きなお母さんヤギですので、近くに寄って来たときには、ぜひ優しく触れ合ってみてください。

トカラヤギ副担当 山口友里

## 不思議がいっぱい



マダガスカル島南部に生息するワオキツネザルには不思議なところがたくさんあります。

まずは名前から。ワオキツネザルのワオはウォ!と鳴くから?

正解は輪尾（ワオ）。尻尾の白黒のシマシマが輪（リング）状に入っていることから輪尾と名付けられました。

キツネなの?サルなの?正解はサル。キツネ顔のサルという意味でキツネザルです。少しややこしい名前になっています。

でもワオキツネザルを見ると、なんだかサルっぽくない…。

理由はワオキツネザルがサルの仲間の中でも原始的なサルだからです。そのため、まだ進化しきれていない部分を持っています。

それは、体温を調節すること。体温調節が苦手なワオキツネザルは、体を温めるために日向ぼっこをします。

座って、太陽の方を向いて両手を上に広げる格好をしていたら日向ぼっこ中です。

寒い時には仲間とくっついて「ワオ団子」状態で温まったり、自分の尻尾を体に巻いてマフラーのようにしています。

今は何をしているか、是非ワオキツネザル舎に見に行ってみてくださいね。

ワオキツネザル担当 駒村紅杏

HPも  
チェックしてね!



須坂市動物園／臥竜公園管理事務所

TEL 026-245-1770 Fax: 026-248-1793